

基本情報 / Basic Information	詳細情報 / Detailed Information	授業計画詳細情報 / Class Schedule Details
講義題目 / Subtitle	環境と健康	
授業の目標、概要 / Course Objectives / Overview	健康は、環境と人との相互作用の結果としてとらえることができる。本授業の目標は、人の健康に対する環境の重要性を理解することである。環境の健康影響を科学的に評価する方法を学び、環境をコントロールする方策について考える。	
授業のキーワード / Keywords	日本語用 / Japanese	生態系、人類、適応、持続可能性、環境評価、コスト・ベネフィット、公害、環境問題、リスク評価、地球温暖化、気候変動、大気汚染、浮遊粒子状物質、オゾン層、衛生、細菌、感染、生物学的モニタリング、水銀、鉛、有機溶剤、メンタルヘルス、職業性ストレス、心理学的ストレス、プラネタリー・ヘルス、環境ガバナンス、リスクコミュニケーション
	英語用 / English	ecosystem, humans, adaptation, sustainability, environmental evaluation, cost-benefit, pollution, environmental problems, risk assessment, global warming, climate change, air pollution, particulate matter, ozone layer, hygiene, bacteria, infection, biological monitoring, mercury, lead, organic solvent, mental health, occupational stress, psychological stress, planetary health, environmental governance, risk communication
授業計画 / Schedule	<ol style="list-style-type: none"> 11月29日 環境保健学の基礎 1 地球と人類の持続可能性 (小西) 11月29日 環境保健学の基礎 2 環境の評価 (小西) 12月6日 環境保健学の基礎 3 物理的・化学的・生物的環境要因と健康 (小西) 12月6日 環境保健学の基礎 4 環境の管理 (小西) 12月13日 各論 1 地球環境と健康 (橋爪) 12月13日 各論 2 大気汚染と健康 (新田) 12月20日 各論 3 衛生環境と健康 (仲上) 12月20日 各論 4 職場の心理社会的環境と健康 (今村) 12月27日 各論 5 職業曝露と健康 (吉田) 12月27日 各論 6 環境対策の実践 (渡辺) 1月10日 各論 7 リスクコミュニケーション (小西) 1月10日 グループワーク 持続可能な地球を目指して (仮題) (小西) 1月17日 グループワークの成果発表 (小西) 	
授業の方法 / Teaching Methods	授業は環境保健学の基礎的な内容と、各分野の一線で活躍する研究者による専門的な内容で構成する。授業の最後にはグループワークを行い、各自が設定したテーマについて調べて発表する。各授業の後に小レポートを課す。講義の最終回はグループワークの成果発表とする。	
成績評価方法 / Grade Evaluation	成績は小レポートおよびグループワークの発表および講義参加態度によって評価する。	
教科書 / Textbook	シンプル衛生公衆衛生学2018 鈴木 庄亮 (監修), 小山 洋 (編集), 辻 一郎 (編集) 南江堂	
参考書 / Reference	Environmental Health---From Global to Local, Third Edition Howard Frumkin, Editor Jossery-Bass, Wiley	
履修上の注意 / Notes on Taking the Course	毎回授業の開始時に出席をとる。遅刻・早退の場合は特段の理由がない限り出席と認めない。	
関連ホームページ / Course-Related Websites		
その他 / Others		
メールアドレス / e-mail address	moe@humeco.m.u-tokyo.ac.jp	
研究室電話番号 / Laboratory room phone no	内線23529	
授業使用言語 / Language Used in Class	日本語	